メイドさんはこんな人

メイド「というわけでここがご主人様の部屋で御座います……どうだ？念入りに掃除しておいたから気持ちいいだろう」

姉御肌なメイドさん

メイド「ふふっ、そうか♪動くとうまいよな……それだけじゃねぇ、青い空、朝の清んだ空気……何より一緒にメシを食うやつがいる……そんなことでいくらでも幸せな気分になれるもんだ……もちろん私の腕がいいのもあるがな」

メイド「ほれ、そんなにがっついて食うと詰まるぞ……お茶だ」

茶を注ぐ

メイド「くす、世話のかかるご主人様だぜ……私もメイドのし甲斐があるよ」

お節介焼きなメイドさん

メイド「何も言わなくてもいいよ……そのまま部屋に持って帰って食え……ただし「いただきます」と「ごちそうさま」だけはちゃんと言え……私からはそんだけだ……じゃあな」

恥ずかしがりやなメイドさん

メイド「うし、ご主人、上脱がすぞ……ほら、暴れんな……私の肩たたきは本格派なんだよ……んっ……なんだ急に大人しくなって……む、胸があたる？……な、ななな何言ってやがっんだえっち……さっさと逃がすぞ」

恋に照れるメイドさん

メイド「……そうだな……今はご主人がいてくれる……寂しくはねぇよ……私もご主人に救われてんだ……その……あ、ありがとうな」

メイド「い、言ったからもう寝ろや……じゃあな」

引き留める主人上

メイド「な、なんだよ……ど、ドキドキして眠れないだと……し、知るかよ甘えんな……うっ……しゃーねーな……耳かきでもしてやるから……寝ろ……特別だぞ」

耳かき編

全体的に優しく

メイド「……くす、ご主人大分まどろんでるな……そのまま力抜いて寝ちまえ……別に私はいいからよ……私の膝でよければ……な」

戻り

メイド「んっ、こら甘えんな……仕方のないご主人だぜ……くす、メイド冥利につきるがな……ほら、耳かきするぞ」

耳かきスタート　耳かきはやや近づき気味に

メイド「（５秒くらい耳かき）……ほら……心地いいだろ……ご主人様を夢の中までご案内致します……なんてな」

メイド「１０秒耳かき」

メイド「ふふ、なんだかなご主人の顔見てると私まで穏やかな気分になっちまうなぁ……ふむ、なるほど……これが『ご奉仕』の喜びってやつなのかな」

耳舐め編

※　あなたの耳舐めをアドリブで３０秒～１分ください

本番編

攻められると弱い

メイド「んちゅ……んぁっ、ご主人優しくして……くれ……はじめてなんだからよ……ひゃ、あんっ……ち、ちが、これは勝手に、あっ、あんっ、あん、あん、あんっ……ううっ、ご主人いじわるだ……んぁっ……かわいいとか言うんじゃねぇよ」

騎乗位で攻め

メイド「んふふっ、ご主人、こっちの方も私が鍛えてやるぜ……んっ……ほら、そんな軟弱に声を上げてどうするんだ……んっ……んぁっ……あはは、女に腰振られて喘ぐなんざ女の子みたいだぜ……ほら、がんばれよ……ほら、ほら、ほらぁ……あ……んっ……あーあ、何漏らしちまってんだよご主人……くす、情けないセックスだな」

フェラ編

メイド「んっ。ご主人の精子いっぱい出していいからな、んっ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅぱ、んっ、ちゅぱ、んっ、んっ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅぱ、んっ、出るか？ん、んー、んんんんっ、んっ……んっ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅーっ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅぱ、んっ、ちゅー、んっ、んっ、ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅ、ちゅ、ちゅぽ」

メイド「はぁはぁ、いっぱい、出たな……飲んでやる（口に含みながら）……んっ……んっ……コクン……はぁはぁ……旦那様のお子種ごちそう様でした」